

設立20周年で記念講演と祝賀会

(社)三重県産業廃棄物協会

災害時の支援体制など実績

(社)三重県産業廃棄物協会(木村亮一会長)は、設立20周年記念講演会と祝賀会を11月11日、四日市都ホテルで、

関係者250人を集めて開催した。

第一部では、最初に協会を代表して木村会長があいさつに立った。

次に、協会功労者25名を表彰した。続く講演会で、三重県警察本部刑事部組織犯罪対策課の暴力団対策室長・警視の天白修一氏が「暴力団情勢とその対策」について述べ、暴力団は、社会的に勢力を増やすことができにくい構造になってきたことを具体的に話した。

第二部の祝賀会は、木村会長の御礼の後に、協会の20年間の歩みについて紹介した。発足してから20年間で会員数は倍になり、2



あいさつに立つ木村会長



記念講演会の様子

004年に三重県と「災害時におけるがれき等の廃棄物の処理に関する応援協定」を締結して、協会が災害廃棄物処理の支援体制を構築したことを明らかにした。今年の9月に発生した紀州地方を襲った台風12号の災害廃棄物処理にいち早く会員が協力して、他の地域よりも復旧が早いことを示した。

祝賀会のアトラクションは、女性だけのイリュージョングループ「プリマベール」が幻想的で不思議なステージを披露した。続くギター漫談家の堺すすむ氏が漫談の中にモノマネを取り入れたショーを見せて参加者から喝采を集めた。